

2016年9月23日

株式会社 電通  
代表取締役社長執行役員 石井 直  
(東証第1部 証券コード: 4324)

### 電通、フランスの独立系大手スポーツマーケティング会社 「ケネオ社」の株式100%取得で合意

株式会社電通（本社：東京都港区、代表取締役社長執行役員：石井 直、資本金：746億981万円）の海外本社「電通イージス・ネットワーク」は、フランスの独立系大手スポーツマーケティング会社「KENEOS SAS」（本社：パリ市、CEO：Franck Ladouce、以下「ケネオ社」）の株式100%を取得することにつき、同社株主と合意しました。

本件買収により、当社グループのフランスにおけるビジネスの幅と規模がさらに広がり、スポーツ領域では同国最大のエージェンシーへと進化します。

2008年に設立されたケネオ社は、コンサルティング／マーケティング／イベントマネジメント／アクティベーション／ライフという5つのビジネスユニットでスポーツマーケティング領域全般のサービスをフランスだけでなく世界で提供しています。プロスポーツのみならず、企業とアマチュアスポーツを結び付ける領域のビジネスも手掛けており、2015年には計370のスポーツ関連イベントのマネジメントと70ものスタジアム／アリーナの運用に関わりました。

株式取得後、当社はケネオ社を当社グループの10のグローバルネットワーク・ブランド※の1つでライフスタイル・マーケティングを標榜するMKTGのフランス拠点に組み込みます。

今後同社は、フランスおよび世界に展開するグループ各社との連携を図りながら、スポーツマーケティング・ビジネスの更なる拡大を目指します。

世界のスポーツマーケティング市場は、オリンピックやサッカー・ワールドカップなどのメジャーイベントの貢献に加え、スポンサーシップや放送権ビジネスの伸長により、今後も年率平均5%程度の成長が続いていくと当社は見ています。また、フランスを含むEMEA（ヨーロッパ・中東・アフリカ地域）は、世界のスポーツマーケティング市場の約38%を占めています。

今後当社グループは、その強みであるスポーツマーケティング・ビジネスを同地域でもさらに多角的に展開していくことで、成長戦略を加速させていきます。

なお、本件が当社の2016年12月期の連結業績に与える影響は軽微です。

※電通の海外事業を統括する「電通イージス・ネットワーク社」（ロンドン）は、10のグローバルネットワーク・ブランドを中心に世界でビジネスを展開しています。10のブランドとは、Carat、Dentsu (Dentsu Brand Agencies)、Dentsu media、iProspect、Isobar、mcgarrybowen、Merkle、MKTG、Posterscope、Vizeumを指します。

**【ケネオ社の概要】**

社 名 : KENEO SAS  
本社所在地 : フランス・パリ市  
設 立 : 2008年4月  
株主構成 : 株式取得後、電通イージス・ネットワーク 100%  
収益(Revenue) : 5,759,000ユーロ（約6.5億円）（2015年12月期）  
代 表 者 : Edouard Donnelly (Chairman)  
Franck Ladouce (CEO)  
Vincent Batigne (Deputy CEO)  
従業員数 : 30名  
事業内容 : スポーツマーケティング領域全般のサービスを提供

以 上